



Title	臨床哲学 第18号 目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 2016, 18, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60601
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

『臨床哲学』第18号 目次

重症心身障がい児・者に理学療法を行う意味 ——「働きかけ」と「気遣い」を通した身体交流の構造	前野 竜太郎	3
「うっかりの倫理」試論 ——リスクをめぐる主体と責任に関する考察	大北 全俊・横田 恵子	21
経験の原理とP4Cポスターの変化	中川 雅道	43
ケアの倫理と人格の尊厳 ——近代に見失われたもう一つの正義の再考に向けて	高山 佳子	62
看護師にとって老衰死とはどのようなものか ——看護師Aさんの語りから	前原 なおみ	83
メルロ・ポンティと子どもの現象学 ——『知覚の現象学』における人生の最初の数年間	正置 友子	101
自閉症スペクトラムのある青年との歩みにおけることばの選択および了解のプロセス ——「困り」ということばの具体例から	永浜 明子・永山 亜樹	120
小さなもの	高原 耕平	138
話すことと聞くことによる発見について	青木 健太	159

〈翻訳〉

「最大限の価値に到達するマシーン」から道理にかなう愛ある人間へ

——フッサールの倫理学における主觀性

インガ・レーマー（高山 佳子、浜渦 辰二訳） 175

〈講演原稿〉

To live together with others

– from Husserl's phenomenology of intersubjectivity

Shinji Hamauzu 191

臨床哲学研究会の記録	206
『臨床哲学』投稿規定	213
編集後記	215
執筆者一覧	216